

タイトル

分界稜の家

タイプ

持家共同建

構造

鉄骨鉄筋コンクリート

講評

大梁を利用した可変な空間構成と素朴な素材、可動壁で、住み手の創造的使用を誘発しようとする大胆な試みは極めて実験的で面白い。人が住み、物が増えたとき、この可変性がどこまで使いこなせるか興味が沸く。



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など			
フロンテージセーブ型住戸ユニットの改修		集合住宅における住み手の創造的使用の誘発	
・間口の狭さと奥行きを深さを生かす日本的流動的空間の創造		・既存大梁を利用した全面可動引戸による空間の可変性	
・全面可動壁（引き戸）による公私空間の分界・連結操作		・配線ダクト方式LED照明による光の演出	
遠景ランドスケープとのシンクロナイズ		施工簡略化と自然素材の使用	
・プランの重心（キッチンシンク）から直線的に見える公園の大木		・100%ベニヤ壁仕上げと漆喰の使用	
性能向上の特性 耐久性能、温熱性能、防音・遮音性能、室内空気環境		特に配慮した事項 ダクトレスフード・LED等による省エネ化、合板による施工省力化、不燃自然素材	
データ			
所在地	熊本県熊本市	築後年数	25年
		施工期間	55 日間
該当工事面積	89 m ² ／総工事床面積	89 m ²	該当部分工事費 1,250 万円／総工事費 1,250 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 2 人／65歳以上：	人／15歳未満： 2 人／ペット：	
設計会社	九州大学	担当者	田上 健一
施工会社	同上	担当者	同上

リフォーム前

リフォーム後

リフォーム部位：

居室

台所

浴室

便所

洗面所

廊下

階段

玄関

エクステリア

マンション共有部